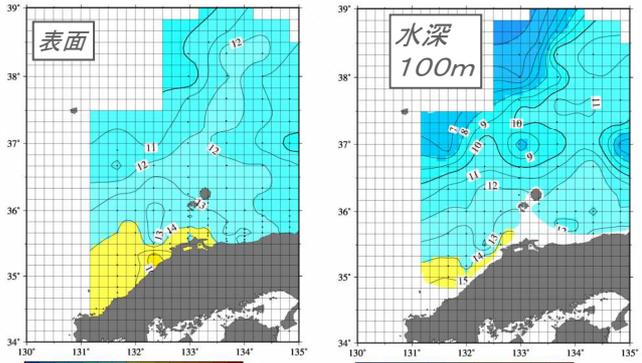
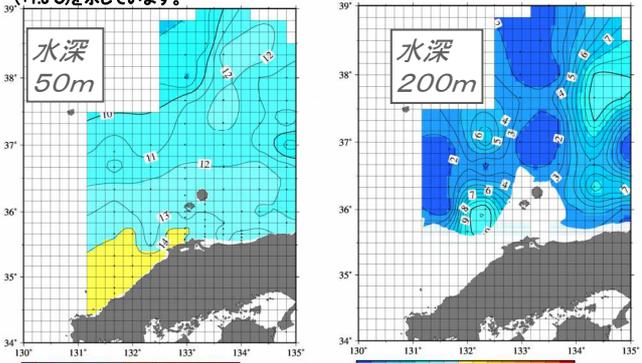


発行 鳥取県水産試験場 (電話:0859-45-4500)
試験船による海洋観測結果 (3月上旬)



鳥取県沖と隠岐諸島周辺海域の水温は12～14℃で、平年(直近20年)より高めの値(+1.3℃)を示しています。

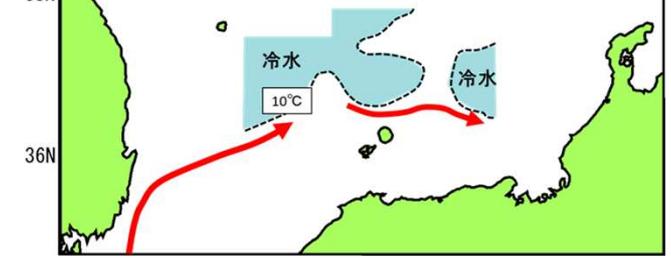
水温は12～13℃を示し、平年並より高めの値(+0.8℃)を示しています。



水温は12～14℃を示し、平年より高めの値(+1.1℃)を示しています。

兵庫県西部沖北緯37°10'以北と鳥取県沖北緯35°40'付近に8～10℃を示す暖水域があります。

3月上旬の水塊配置と対馬暖流



鳥取沖冷水域	10℃以下冷水の一部が、山口・鳥取沖北緯36°40'以北に認められます。一部が隠岐諸島北方北緯36°40'付近に張り出しています。
山陰・若狭沖冷水域	10℃以下冷水域が、兵庫沖北緯36°30'以北に認められます。
対馬暖流主流の流路	朝鮮半島東岸から鳥取沖冷水に沿って北東に向かう流れが認められます。その後は、隠岐諸島北方に張り出した冷水域と山陰・若狭沖冷水に沿って北緯36°30'付近を東方に向かい流れていると考えられます。

*県内の漁獲情報については水産試験場ホームページ(鳥取県水産試験場で検索してください)に詳しく掲載しています。是非ご利用ください。

栽培漁業センター

今年も無害の赤潮(夜光虫)が発生しています

毎年、4月から6月にかけて、鳥取県沿岸において、赤潮(夜光虫:学名ノクチルカ・シンチランス)が発生します。今年は、早くも3月9日に鳥取県中部の泊から長和瀬にかけて確認されました。

この夜光虫(ヤコウチュウ)はノクチルカとも呼ばれ、発生すると海水の表面に波に沿って赤い帯状に形成され、まさしく「赤潮」と呼べる状態になります。陸上からでもその状況を確認することができます。この夜光虫ですが、**無害**で水産資源に影響を与えることはありません。

栽培漁業センターでは、水産試験場と共同で毎年6月から9月に有害赤潮の調査を行っています。結果は漁協等にお知らせします。今後とも漁場環境の維持と水産資源の保護への御協力をお願いします。



お知らせ 栽培漁業センターでは、このたび、ドローンを整備しました。藻場調査をはじめ、アカモクの生育状況や漁場の把握、アユ関連調査、赤潮や台風被害の対応など様々な業務にも使用していく予定です。要望があれば写真や動画を撮りに行きますのでお気軽にお声かけください!

水産試験場

令和2年度第2回境港地区漁海況連絡会議

3月26日にみさき会館(境港市)で、境港地区の水産関係者等の皆さんを対象に、浮魚・底魚類に関する連絡会議を行いました。漁模様や今後の見通しについて、次のとおり報告しました。

浮魚類

魚種	予報期間	コメント
スルメイカ	4月～6月	昨年秋生まれのスルメイカ幼生は前年より多く、水揚げは前年を上回り、平年並みの見込み。
マアジ	4月～6月	平年並み(2・3歳魚はやや少ないが、1歳魚は多いと推定。)
マサバ	4月～6月	平年並み(1歳魚は少ないが、2・3歳魚は多い。但し主漁期でない。)
マイワシ	4月～6月	平年並み(資源は増加傾向にあるが、海況がやや不漁傾向と予想)
クロマグロ	6月～7月	漁獲枠内で安定した水揚げが期待できる。水揚げの主体は、加入水準は低いが前年に一定程度漁獲された4歳魚(42kg前後)と加入が良好な5歳魚と6歳魚(77kg前後)となる見込み。なお、3歳魚は加入水準が低く期待できない。

底魚類

魚種	予報期間等	コメント
松葉がに	2020年結果	前年並(前年比5%減)(11月、1月の荒天の影響(入港隻数10%減)やGoToキャンペーンの終了等の影響もあったが、資源量は前年並であったため)
親がに	2020年結果	前年を下回った(資源状態の悪化が影響)※ただし、来漁期にクログロになるアカコは多少はいるとの声もある
若松葉	2020年結果	前年を下回った(資源状態の悪化が影響)
ズワイガニ合計	2021年予測	前年を下回る(来漁期からTACが更に削減される見込み。ただし、安定供給が損なわれるほどではないと見込む)
ハタハタ	2021年予測	前年並
アカガレイ	2021年予測	前年並～前年を上回る(ホタルイカ漁模様が次第)
ソウハチ	2021年予測	前年並～前年を下回る
マダラ	2021年予測	前年並～前年を下回る
ベニズワイ	2021年予測	小型ガニの加入がしばらくなかったため資源は低位。2～4年後に漁獲サイズとなるカニが多くみられ期待される。引き続き資源管理を推進し、現在利用可能な資源を計画的に上手く利用して行く。

令和2年4月から下記2社の広告を1年間掲載することになりました。

いつの時代も、技術とサービスをもって水産業・漁業の皆様を支援してまいります

西日本ニチモウ株式会社

本社 山口県下関市小月小島2丁目3-17 〒750-1136
電話 083-282-4041(代表) FAX 083-282-0424
境港営業所 鳥取県境港市栄町67番地 〒684-0006 電話 0859-44-0475 FAX 0859-42-6330

水産課 水産業の今後について (3月末で退職にあたり)

水産課長 平野誠師

昭和63年4月に岩美町大谷にあった水産試験場でスタートして以来、あっという間の33年間でした。途中、外務省及び在ウラジオストク日本国総領事館への赴任や、関西本部での勤務もあり、ずっと水産一筋だった訳ではありませんが、水産の中で多くのことを学ばせていただきました。

中でも、カニ博物館構想から10分の1に縮小した「かにっこ館」を整備したこと、東日本大震災があった年に、天皇皇后両陛下をお迎えし「全国豊かな海づくり大会」を開催できたこと、境港を魅力あふれる漁港・市場としていくための高度衛生管理型市場整備の計画策定に関わったことが印象深く残っています。境港の市場整備は道半ばですが、完成の暁には、境港ブランドの高評価入賞することを願っています。

私が入庁した当時に始まった資源管理型漁業は、長期的な水産資源の減少が続く中で、漁業者の自主規制主体の管理からTACを主体とする公的管理へ変わろうとしています。マグロやズワイガニでの混乱もありましたので、有効な対策がスムーズに進むことを願っています。

全国的にも大きな懸案である漁業の担い手対策、代船建造については、諸先輩方が取組まれてきた対策のお陰で、鳥取県は着実に進んでいます。

国民の魚離れ、魚価安、昨今の新型コロナウイルスの影響等、漁業経営には厳しい状況が続くと思いますが、生産者、流通・飲食関係者、行政・研究等、水産業に関わる多くの方々の英知と行動で、鳥取県の水産業が益々発展していくことを願っています。

最後に、これまで叱咤激励をいただいた先輩諸氏、一緒に仕事をしてきた全ての方に心より感謝を申し上げます。ありがとうございました。

潮に夢を

共和水産株式会社

代表取締役 岩田 祐二

〒684-0006 鳥取県境港市栄町65番地
TEL:0859-44-7171(代) FAX 0859-42-6530